

第1回 ゼロカーボン研究会事後調査報告

1. アンケート回収状況

- ・自治体：参加者 19 名中 19 名回収（回収率 100%）
- ・民間：参加者 26 名中 21 名回収（回収率 81% ※傍聴人含む）

2. 第1回ゼロカーボン研究会について

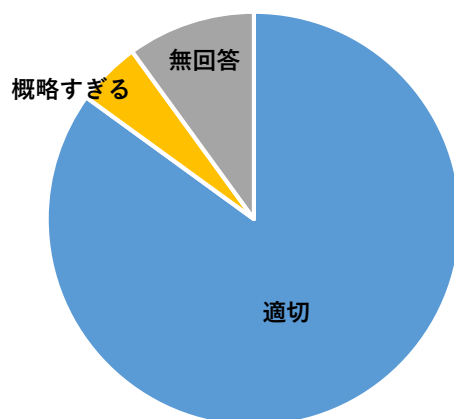
(1) テーマ「太陽光発電導入拡大に向けた取組について」に関して

- ・40 名中 34 名（85%）がテーマの選定について「適切だと思う」と回答した。
- ・少数だが、テーマが「概略すぎる」（より詳細なテーマ設定にしたほうがよい）との回答もあった。
- ・自治体と民間で、回答構成の違いはほぼなかった。

【表1 回答一覧表（テーマに関して）】

単位：人

	適切	詳細すぎる	概略すぎる	無回答	合計
自治体	15	0	1	3	19
民間	19	0	1	1	21
合計	34	0	2	4	40



【図1 回答構成（テーマに関して）】

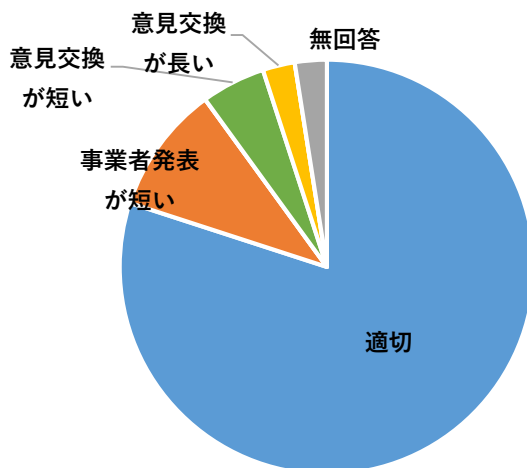
(2) 時間配分に関して

- ・40名中32名(80%)が時間配分について「適切だと思う」と回答した。
- ・自治体回答のうち、「事業者発表が短い」との回答が11%(2名/19名)、「意見交換が長い」との回答が5%(1名/19名)あった。
- ・民間回答のうち、「事業者発表が短い」との回答が10%(2名/21名)、「意見交換が短い」との回答が10%(2名/21名)あった。

【表2 回答一覧表(時間配分に関して)】

単位：人

	適切	事業者発表 が短い	事業者発表 が長い	意見交換 が短い	意見交換 が長い	その他	無回答	合計
自治体	16	2	0	0	1	0	0	19
民間	16	2	0	2	0	0	1	21
合計	32	4	0	2	1	0	1	40



【図2 回答構成(時間配分に関して)】

(3) 参加の感想に関して

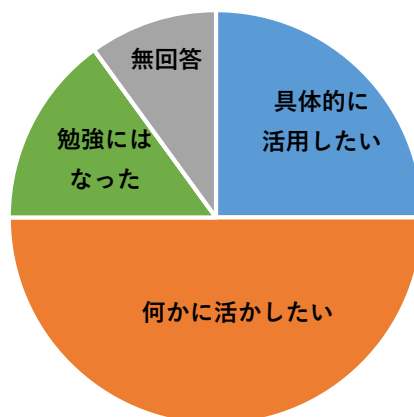
- ・40名中20名(50%)が「具体的ではないが何かの対策に活かしたい」と回答した。
- ・40名中10名(25%)が「具体的な対策に活用したい」と回答した。
- ・対策に活用したい※という回答は、自治体では89%(17名/19名)、民間では62%(13名/21名)あった。
- ※「具体的ではないが何かの対策に活かしたい」「具体的な対策に活用したい」の合計
- ・40名中6名(15%)が「対策にはつながらないが勉強になった」と回答した。
- ・具体的な対策内容として、以下の回答があった。

- ・本市危機管理課が、防災の非常用電源確保のために本庁舎屋上にソーラーパネルと蓄電池を考えているが、設置期間中に本庁舎の建替も考えているため、どのようにすればいいか思案している。
- ・支所等の市北の出先機関に太陽光導入等を行いたい。
- ・R4実施予定の実行計画の改定に盛り込みたいと考える。

【表3 回答一覧表(参加の感想)】

単位：人

	具体的に活用したい	何かに活かしたい	勉強にはなった	参加前と変わらない	無回答	合計
自治体	4	13	2	0	0	19
民間	6	7	4	0	4	21
合計	10	20	6	0	4	40



【表3 回答構成(参加の感想)】

3. 次回以降の研究会テーマについて

- ・「省エネ」は、自治体（回答数1位）、民間（同2位）ともに回答が多く、全体でも最も回答の多いテーマであった。
- ・「蓄電」は、民間における優先度が高く（回答数1位）、全体でも「省エネ」に次いで回答の多いテーマであった。
- ・「地域新電力」と「再エネ（バイオマス）」は、自治体における優先度が高く（回答数各2位、3位）、全体でも回答数がそれぞれ3位と4位であった。
- ・自治体、民間ともに「水力」、「RE100」、「風力」は、回答数が比較的少なかった。
- ・「その他」には、以下の回答があった。

- ・活用可能な補助金の紹介、説明
- ・岡山ガス様のご意見にあった熱エネルギーのカーボンニュートラル
- ・太陽熱（温水）活用は、地方公共団体実行計画（区域施策編）にも記載されている。岡山県内の日照条件を考えると、テーマとして重要と考える。
- ・排熱利用の地域施設利用テーマの取り上げ希望
- ・公共交通機関による地域脱炭素。マイカーと公共交通機関のすみわけによる地域脱炭素の進め方
- ・Co-benefit の事例紹介
- ・SDGs と ESG 投資

【表4 回答一覧表（次回テーマ、回答数順）】

単位：人

順位	自治体		民間		合計	
1	省エネ	12	蓄電	10	省エネ	20
2	地域新電力	12	省エネ	8	蓄電	18
3	バイオマス	11	太陽光	6	地域新電力	17
4	太陽光	8	EV	6	バイオマス	16
5	蓄電	8	バイオマス	5	太陽光	14
6	EV	7	地域新電力	5	EV	13
7	水素	6	水素	4	水素	10
8	水力	4	水力	2	水力	6
9	RE100	3	風力	1	RE100	4
10	風力	2	RE100	1	風力	3

4. その他ご意見

- ・EV普及により、ガソリン等の需要が減少し、揮発油税が減少すると思われ（電力需要の増加もあわせ）ガソリンにアンモニア等利用する可能性は？
- ・連携事業として、進めていけるなら、ぜひ取り組みたいなと思う。単町だけでとなると、予算や優先順位、業者選定など不安がある。
- ・リースにしても PPA にしても蓄電池が契約期間中もつかいが心配
- ・水素等の新しいエネルギーの現状などを勉強してもよいのかなと思いました。
- ・WEB からも参加できるようにしていただけるとありがたいです。
- ・水素エネルギーの可能性、実現性について研究できればと考えます。
- ・自治体の区域全域への省エネの働きかけの方法や、地域新電力等の再エネ導入のスキームの検討が行うことができれば良いと感じました。
- ・太陽光に偏りすぎのような気がする。
- ・地域全体でのゼロカーボン計画の在り方、補助金の活用方法、規制（諸外国との比較含め）
- ・活用できる補助金について
- ・ガスのゼロカーボンに向けた取組を発表させていただきます。
- ・非電力のカーボンニュートラルについて取り上げていただきたい。
- ・熱利用（再エネ）についても情報共有